COLUMN

コラム　萩原　智子



暑い夏が始まりました。皆さんは、どんな日々をお過ごしでしょうか？

今、私がこのコラムを書いているのは、7月14日（水）です。東京五輪・パラリンピックの開幕が迫っています。恐らくこのコラムが掲載されるのは、五輪が終わりに近づいている頃でしょうか。皆さんは、この東京五輪をどんな風に観ましたか？それとも観なかったですか？

今、私の気持ちを書き留めておきたいと思います。

東京五輪・パラリンピック開催については、正直なところ複雑な気持ちです。開催に否定的な声がある中、選手がどんな気持ちで練習しているかを考えると苦しいです。元アスリートとしては選手が目指してきた舞台で活躍してほしいと心から願います。

ただ今回、マスコミの立場として関わる私は、新型コロナウイルス禍で苦しんだり、亡くなったりする方もいる中、どのように伝えるのが良いのだろうかと、日々、葛藤しています。

また一方で、医療従事者の友人の大変さや苦労を聞くと、そもそも本当に開催しても良いものかなとも思っています。答えがいまだ見つかっていません。

五輪・パラは、新たな姿を考え直さないといけない時期にきていると思います。

この夏が終わり、開催の有無にかかわらず、国民がどんな気持ちになったかを検証するべきだと思います。開催され、スポーツの力は、やっぱりすごいと感じたのか、そう感じなかったのか。多様な意見をぶつけ合うことが大切だと思います。

13年に東京大会の招致が決まってから、いろいろな立場の方が、後世にレガシー（遺産）を残さないといけないと考えてきました。私が思うレガシーは「コロナ禍に五輪・パラ像を見直すきっかけを与えてもらった」ことだと思います。

Profile プロフィール

名　　前　萩原智子（はぎわら・ともこ）
生年月日　1980年4月13日
肩　　書　・日本水泳連盟理事
・日本マスターズ水泳協会理事
・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員
出 身 地　山梨
出 身 校　山梨学院大学付属高等学校
山梨学院大学
山梨学院大学大学院

中学3年生時に、海外遠征カナダ選手権200m背泳ぎで、当時、日本歴代2位となる日本中学新記録樹立。
高校インターハイでは、200m背泳ぎで、3連覇達成。同年アジア競技大会では、個人、リレー種目で、3個の金メダルを獲得。
2000年シドニー五輪、200m背泳ぎ4位、200m個人メドレー8位入賞。2002年日本選手権では、100m、200m自由形、200m背泳ぎ、200m個人メドレーで史上初の4冠達成。「ハギトモ」の愛称で親しまれ、2004年現役引退。5年の歳月を経て、2009年現役復帰宣言。復帰レースとなった新潟国民体育大会では大会新記録で優勝。
翌年2010年には、30歳にして日本代表に返り咲いた。同年、ワールドカップ東京大会で50m自由形、100m個人メドレーで、短水路日本新記録を樹立。
2012年2月のJAPAN OPENでは、50m自由形で短水路日本記録を樹立。
2013年6月、日本水泳連盟理事に就任。
2015年、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員に就任。
現在は、テレビ・ラジオ出演や水泳の解説のほか、自ら現場に行って取材を行い、ライターとしても活動の幅を広げている。
メディア出演のほかにも、これまでの人生経験をもとに講演活動を行うほか、改めて、自身を育ててくれた「水」に感謝し、水泳教室はもとより、「水の大切さ」や「水の教育」にも取り組む水でエデュケーション・コミュニケーションする「水ケーション」の活動にも注力している。また山梨県、福島県、愛知県で水泳大会「萩原智子杯」も開催している。

●投稿募集中

【会員紹介コーナー】
①A5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地（事務局または事務所）、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】
○主催団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等をお教えください。

きれい甲斐

No.90 AUGUST 2021

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし
事務局●〒400-8501山梨県甲府市丸の内1丁目6-1山梨県自然共生推進課内
TEL.055-223-1634　FAX.055-223-1781　✉shizen@pref.yamanashi.lg.jp
ホームページ　パートナーシップやまなし　検索

発行責任者●企画委員長　志村宏司

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用しています

令和3年度 事業計画

基本方針

東日本大震災とこれに伴う原子力発電所の事故を契機に、人々の間に大きな価値観や意識の変化が生じ、大量生産・大量消費から省資源・省エネルギーへの転換がより一層加速しました。

また、2015年9月、国連において、社会の問題を解決し、よりよい未来を迎えるために、2030年度に向けて世界が合意した国際目標「SDGs（エス・ディー・ジーズ）（持続可能な開発目標）」が採択されました。

環境パートナーシップやまなしは、これらの動向を踏まえ、これまで以上にごみの減量や使い捨てプラスチック製品の使用削減、省エネ、3R運動等日常生活や事業活動に起因する環境活動を推進し、環境に配慮した新しいライフスタイルやビジネススタイルが根付くよう努めて参ります。

また、本県の優れた自然環境を次の世代の子どもたちに引き継いでいくため、個人、各種団体、企業、行政との交流と協働による具体的な実践活動を実施し、持続可能な社会実現に向けた県民運動を広く進めていきます。

1．活動情報の交換及びネットワークづくりのための事業

（1）広報誌の発行
・会員向けの会報的なものとし、年4回の発行を基本とします。
・会員相互のパートナーシップを深めるため、本会の活動計画や活動報告を掲載します。
・会員紹介や会員の特徴のある活動をPRし、環境活動を広めていきます。
（2）会員の募集
・積極的な広報活動を行い、より一層の会員の拡大（募集）を図ります。
（3）ネットワークづくりのための検討
・会員のネットワーク化及び主体的な事業参画に向けての検討を行います。

2．3R・温暖化防止対策実践活動推進のための事業

・エコライフお絵かき・川柳コンテストの開催
省エネ、マイバッグ、マイはし、3Rなどの「エコライフ」を題材として、県内の幼稚園児や保育園児、小学生、中学生を対象とした「お絵かきコンテスト」を、全年齢層を対象とした「川柳コンテスト」を開催することにより、大人だけでなく子どもたちを巻き込んだ普及啓発活動を展開し、3R及び温暖化対策実践活動の推進を図ります。
・3R推進、地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムの開催
県民への意識の定着化を進めるため、関係団体に働きかけ、エコライフの普及や地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムを開催します。

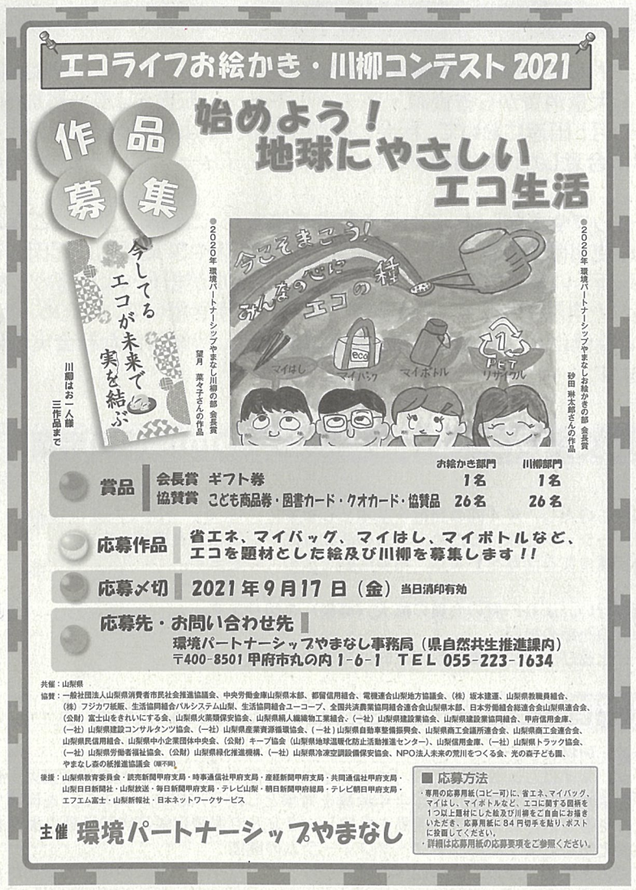
3．その他

・行政課題解決のための協働事業
・県事業との協働及び民間活動団体に対する後援等によるネットワークの拡充
「“人と環境にやさしい交通”県民運動」、「ボランティア・NPO活動推進月間」「やまなしクールチョイス県民運動」などに積極的に参画し、実践活動を行っていきます。

「エコライフお絵かき・川柳コンテスト2021」について

このコンテストは、県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の園児や児童、生徒、県内在住又は県内勤務者から省エネ、マイバッグ・マイはし・マイボトルなどエコに関する絵及び川柳を募集することにより、その製作過程を通じてライフスタイルを見直し、環境にやさしい暮らし方をしてもらうことを目的としています。

コンテストについては環境パートナーシップやまなしホームページでもご案内しています。
https://www.pref.yamanashi.jp/shizen/partnership.html



発　表　審査結果は、環境パートナーシップやまなしのホームページに掲載します。

問い合せ先　〒400-8501　甲府市丸の内1-6-1
環境パートナーシップやまなし事務局（県自然共生推進課内）
TEL　055-223-1634

会員リレートーク Vol.44

持続可能な社会のための人づくり
（公財）キープ協会の環境教育事業

（公財）キープ協会は、「持続可能な平和な社会のモデル農村コミュニティー」を目指し、八ヶ岳清里高原で、環境・教育・観光・健康・国際・地域・農業等のキーワードに環境教育、研修交流、製造販売、農業、保育、国際交流等幅広い事業を展開しています。

県内の方には「清泉寮のソフトクリーム」が広く知られたイメージかもしれません。「澄みきった自分に還る場所」が八ヶ岳エリアのコンセプトです。キープ協会が果たすべき役割のひとつは、誰もが豊かな自然と出会い、元気になってかえっていく場所ともいえます。

人と人・人と自然が出会う中でうまれてくる気づきや発見を大切にし、環境のために考えて行動できる人を育てる環境教育事業にも1983年から取組、実践を続けています。

学びの入口～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター～

「生き物にあやかる恋愛相談コーナーだって」「こっちには、足跡のスタンプがあるよ～」

指定管理者として運営にあたっている八ヶ岳自然ふれあいセンターには、八ヶ岳の自然や文化を楽しく遊びながら学べる展示やセルフガイド、情報がたくさんあります。多くの方が森や周辺地域に興味をもってでかけたくなるような「学びの入口」です。週末や夏休みには、無料で気軽に参加できる「ガイドウォーク～森のお散歩～」。季節ごとに「てくてく八ヶ岳」「いきもの観察会」「講演会」等のイベントも実施しています。

地球温暖化防止はじめの一歩～山梨県地球温暖化防止活動推進センター～

「旬のものを食べることも温暖化防止に役立つんだって」「やまなしエコすごろくだって～」

県内での温暖化防止の輪を広げていくために、県からの指定をうけ、2015年度からセンターの役割を果たしています。県内で地域に根差した活動をしている推進員やクールチョイス（賢い選択）サポーターのみなさんと共に、学校や地域で活用できる教材の開発（HPでダウンロードできます）、お互いの活動から刺激を受けあう「やまなし環境教育ミーティング（毎年3月に開催）」等を行っています。

全ての人に自然体験の機会を～自然体験型環境教育プログラムの提供～

幼児～シニア、学生、企業人、指導者まで幅広く自然の中での学びの場づくりを行っています。園児が、身近な自然を五感で楽しむ保育園プログラム、小学校～大学生への体験型・探求型の学び、SDGs・CSR担当者や新入社員向け研修、森×水・エコ×エネルギー等多様なテーマでの協働プログラム等行っています。最近ではオンラインで病院内の子ども達へ自然を届ける活動や中国の自然体験指導者への講座等広がりをみせています。

協働のアイデア・お声がけ　いつでもお待ちしています！



